

駅前コミュニティ



みたか

COMMUNITY MITAKA

発行：三鷹駅周辺住民協議会
 企画・編集：三鷹駅周辺住民協議会 広報部会
 三鷹駅前コミュニティ・センター
 三鷹市下連雀3-13-10
 TEL 0422(71)0025
 休館日：毎週月曜日(定例休館日)・祝日
 開館時間：平日 午前10時～午後10時(受付は午後7時半まで)
 日曜 午前10時～午後5時

ホームページ (印刷) 株式会社 文伸
<https://www.mitaka-cc.jp/ekimae>

令和7年度 三鷹駅周辺住民協議会活動方針

三鷹駅周辺住民協議会は、平成5年に発足してから32年目を迎えます。これまで、コミュニティの基盤づくりを進めるとともに、地域住民をはじめ、町会・自治会、商店会、各種自主グループまた関係諸機関・団体などと協働・連携しながら、様々な地域のコミュニティ活動に取り組んできました。コミュニティの活動拠点であるコミュニティ・センターは、当該地域の住民が自ら施設を管理することによって、コミュニティの醸成に努めるとともに、市民が活動しやすい環境づくりに取り組んできました。

当センターは、三鷹駅前という立地条件の良さや、市立駅前図書館との複合施設といった長所を生かして、地域の市民やグループが活動拠点として利用するだけでなく、三鷹市主催の各種事業や市内の様々な団体の活動で、利用率も非常に高く、自主管理の実績を上げています。

今後さらに、当センターを拠点として活動する地域の団体を中心に多くの市民やグループが集い、そのコミュニティ活動が一層充実するよう、また、親しみのあるコミュニティ施設になるよう努めます。

また、地域のネットワークにおけるつなぎ役として、町会・自治会、商店会をはじめ、各種団体との連携を深め、委員がお互いに協働し、安全で安心して暮らせる街づくりに努めます。

令和7年度も、今までの活動実績を基本に、七つの部会活動や各種イベント等により、「みんな育てようコミュニティ」の一層の充実をめざし、次のとおり活動方針を定め、様々な課題に取り組むこととします。

- 委員の積極的な参加と満足度の向上
- 市民活動団体との連携の強化
- 施設の適正な管理運営と有効活用
 - 各会議室等は、令和7年7月利用分からインターネット施設予約を開始し、利用者の利便性向上及び利用促進を図ります。
 - また、料理講習室やランチルームなどの諸施設が、その機能を十分に生かせる諸事業に取り組みとともに、各種料理教室、老人給食サービス(配食)など、地域の人たちの健康づくりに貢献できるような事業の実施に努めます。
- 1階ロビーについては、三月のひな人形及び五月人形の展示など、市民に親しまれるコーナーとして活用を図るとともに、各部会活動の場として有効活用を努め、当センターが真にコミュニティ活動の拠点施設として十分な機能が果たせるよう適正な管理運営に努めます。
- 4 駅周辺地域のまちづくりと活性化情報提供の充実
 - コミュニティに関する情報を町会・自治会、商店会、自主グループ等を通じて地域の住民に提供するとともに、広報紙や令和6年度にリニューアルしたホームページにより、情報内容の一層の充実を努め、併せて広報掲示板も活用しながら幅広い情報提供に努めます。
- 6 社会福祉への貢献
- 7 文化活動の活性化
- 8 地域スポーツの振興
- 9 健康づくりの推進と快適な生活環境の確保
- 10 老人給食サービス(配食)活動等への支援
- 11 防災および防犯対策の充実
- 12 地域ケアネットワークの取り組みの推進
- 13 未組織地域の解消とコミュニティ活動の充実
- 14 諸課題の改善に向けた取り組みの推進

以上の活動方針に基づき、次のとおり活動計画を定め、当住民協議会としては、例年どおり通常の年間予算を編成し、事業を実施してまいります。

令和7年度 収入支出予算総括表

収入(千円)		支出(千円)	
指定管理料	81,121	指定管理料	81,121
助成金	40,153	施設運営費	35,567
委託金	225	活動費	7,519
寄付金	1	周年事業等基金	1
繰入金	0	予備費	150
繰越金	2,267		
諸収入	591		
収入合計	124,358	支出合計	124,358

センター休館日

6月	5月	4月
23	12	29
30	19	5
7	26	12
14	2	19
21	9	26
28	16	2
	23	9
	30	6

三鷹駅周辺住民協議会 新委員募集

三鷹駅前コミュニティ・センターを拠点として一緒にコミュニティ活動(コミュニティまつり、防災訓練、各種講座講習会等の企画及び運営)をしてみませんか。

この6月に住協委員の改選期を迎えます。現在約110名の委員の方々が7部会にそれぞれ所属して住協活動をしています。住協活動に関心のある方は、ぜひご応募ください。団塊の世代の方々や、初めての方も大歓迎です。

- 任期：2025年7月1日～2027年6月30日(2年間)
- 申込方法：所定の申込書(事務局にあります)に、必要事項(氏名、住所、電話番号、生年月日、性別、希望部会)を記入の上、三鷹駅前コミュニティ・センター1階事務局へ届け出てください。
- 応募条件：市内下連雀1～4丁目、上連雀1～5丁目地区に居住していること
- 募集人数：25人
- 申込締め切り：5月23日(金)
- その他：当委員の活動は、ボランティア(無報酬)です。
- 問い合わせ先：三鷹駅周辺住民協議会(三鷹駅前コミュニティ・センター事務局 TEL 71-0025)

駅前コミュニティ・センター 会議室のインターネット予約 操作説明会

駅前コミュニティ・センターではインターネットによる施設予約システムの導入に伴い、操作説明会を下記の通り実施します。

- 日時：5月16日(金) 14時30分～
 5月23日(金) 18時30分～
- 会場：三鷹駅前コミュニティ・センター B1F 大会議室
- 持物：予約を取るスマートフォン等

三鷹駅前コミュニティ・センターの インターネット施設予約について

令和7年6月1日よりインターネット施設予約を開始。
 コミュニティ・センターの窓口に来ることなく予約が可能になります。

利用時間変更 (令和7年7月利用分から)

- 現状：1日4区分(2時間50分/区分)
 - 変更後：30分単位で最大3時間まで予約可能(終了時刻の10分前までに会議室の利用を終えて事務室に鍵を返却)
 - 最終利用開始時間：19時30分
- 例：「10:00～12:45」利用 → 「10:00～13:00(3時間)」予約
 「18:30～20:45」利用 → 「18:30～21:00(2.5時間)」予約

予約区分と開始日

- 自主グループ(区分A)
 - 利用日の2か月前1日～10日に利用月の1ヶ月分最大5回分を予約可能(重複は抽選)
 - 落選後や申込忘れの場合：2か月前21日以降に先着申し込み
- 一般グループ(区分B)
 - 利用日の1か月前同日以降に1週間1回分を先着申し込み

DXの利便性を活用し、よりスムーズな施設予約をお楽しみください!

※DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術を活用してビジネスや生活を根本から変えることを指します。単なるIT化やデジタル化ではなく、組織や社会の仕組みを大きく変革するプロセスです。

団体登録の要件

自主グループ

- ・会員10名以上、代表者・会員の過半数が駅前コミセン住区内に在住・在勤・在学
- ・住民協議会委員を1名選出し部会活動に参加
- ・住民協議会主催事業への協力等

一般グループ

- ・会員5名以上、過半数が三鷹市内に在住・在勤・在学

今後のスケジュール(予定)

- ・令和7年4～5月：一般グループ団体登録
- ・5月16日(金) 14:30～16:30 説明会実施
- ・5月23日(金) 18:30～20:30 説明会実施
- ・6月1日(日)：インターネット予約開始

注意点

- ・システム利用：自主グループ、一般グループともに団体登録後、IDを交付
- ・申込枠：1週間(日曜日～土曜日) 1回分、最大3時間まで
- ・前日・当日利用：空きがある場合は窓口で受付
- ・先着申し込みの開始時刻は12時(正午)
- ・料理講習室等の特定施設及び個人利用：現状どおり窓口での申し込み
- ・三鷹駅前コミュニティ・センターの開館時間(午前10時から午後10時<日曜は午後5時>)は変更なし
- ・コミュニティ・センター窓口での申込みも可能(事前に団体登録が必要)

活動報告

三鷹駅周辺住民協議会部会活動報告

行事名	内容	講師	日時	参加者数
冬休み子ども工作教室 (文化部会)*1	「大好評! 12面カレンダーづくり」 12面体を組み立てて、好みの絵や写真の 下地の上に12か月のカレンダーを貼る	西岡直実・西岡英子さん (キャラクターワークスジャパン主宰)	令和6年12月27日(金) 午前10時30分～12時	参加者7名 スタッフ3名
庭木の剪定講習会 (環境部会)	「庭木の剪定講習会」 庭木の剪定に関する基礎講習と参加者の個 別の問題に対応	加藤治平さん(グリーンアドバイザー・職業訓練指導員・環境部会 副会長)	令和7年1月26日(日) 午前10時15分～12時30分	参加者20名 スタッフ7名
男性料理教室 (厚生部会)	「あったか洋食」 ハヤシライス、ジュリエンスープ、パン ナコッタなど	佐藤律子さん、森幸代さん (三鷹地域活動栄養士会管理栄養士)	令和7年2月15日(土) 午前10時30分～12時30分	参加者11名 スタッフ3名
上級救命講習会 (駅前地区自主防災連合会)	「すでに講習を受け3年以上過ぎた方」 救命に関する講義と胸部圧迫や人工呼吸な どの実習が行われた	公益財団法人 東京防災救急協会	令和7年2月15日(土) 午後1時30分～4時	参加者9名 スタッフ3名
デジタル相談サロン (三鷹駅周辺住民協議会)*2	「スマートフォン・タブレットなどの使い 方や困りごとの相談」 普段利用している機器を持ち込んで相談員 に説明を受ける	株式会社まちづくり三鷹	令和7年1月22日、2・3月19日 ①14:00 ②15:00	参加者各回4名 スタッフ各回3名
健康体操教室 (厚生部会)	「体幹鍛えて姿勢改善! 椅子に座って楽し く体操」 椅子に座ってできる上半身と下半身の運動 を中心に行った	鈴木明子さん (健康運動指導士)	令和7年2月22日(土) 午後1時30分～	参加者21名 スタッフ3名
絵手紙教室 (文化部会)*3	「果物や野菜を描く」 手紙(はがき)に墨で絵の輪郭を描き、絵 の具で色付けする	山路智恵さん(絵手紙作家) (山路智恵絵手紙美術館館長)	令和7年3月2日(日) 午後1時～3時	参加者19名 スタッフ4名
健康セミナー (厚生部会)	「睡眠について」 生活の多くを占める睡眠に関して学び、健 康について考える	菊池健さん (井之頭病院 理事長)	令和7年3月6日(木) 午後1時30分～3時	参加者40名 スタッフ7名
つぼみ児童遊園の花鉢替え (環境部会)	年4回、雑草取り、枝切り、花鉢の植え 替えなどを行っている。さらに手入れを年 2回ほど実施	「花と緑のまち三鷹創造協会」と 連携	令和7年3月7日(金) 午前中	参加者6名
上級救命講習会 (駅前地区自主防災連合会)	「初めて講習会を受ける方」 救命に関する講義と胸部圧迫や人工呼吸な どの実習が行われた	公益財団法人 東京防災救急協会	令和7年3月15日(土) 午前9時～午後5時	参加者8名 スタッフ3名
栄養料理教室 (厚生部会)*4	「3つのお皿をそろえてバランスアップ」 白身魚のかぶら蒸し焼き、里芋ごはん、 春菊のくるみあえ	森幸代さん (三鷹地域活動栄養士会管理栄養士)	令和7年3月15日(土) 午前10時30分～12時30分	参加者12名 スタッフ3名

*1 共催：西多世代交流センター *2 主催：三鷹市生活環境部コミュニティ創生課 *3 共催：三鷹市生涯学習課 *4 共催：三鷹市健康推進課

◆ 令和6年度防災講演会 「阪神淡路大震災から30年 今、教訓から学ぶこと」

令和7年1月21日(火) 午後7時～

三鷹駅前コミュニティ・センター 地下1階大会議室

講師：大倉 誠さん(NPO法人Mitaka みんなの防災)

主催：駅前地区自主防災連合会 三鷹駅周辺住民協議会

今後30年以内に発生する確率が70%と高い数字で予想されている(内閣府HP/防災情報のページより)首都直下地震に備えるためにも、「阪神淡路大震災から学ぶ今、私たちができること」というテーマで講演が行われました。大倉講師の非常にわかりやすいお話、約12分間の大阪サンテレビ制作による報道されなかった記録映像の動画、講演後の活発な質疑応答と大変充実した講演でした。以下講演の抜粋です。



【教訓から学ぶ】

〈自助と共助の大切さ〉

「自分の命は自分で守る」が防災の基本

- ① 「自助」で自分の命と体と生活を守る
- ② 自助に成功したら互いに助け合う「共助」

〈避難生活への備え〉

- ① 在宅避難への備え(日常生活で防災に取り組む、日常備蓄とローリングストック、災害時用トイレの備蓄)
- ② 避難所生活への備え(非常用持ち出し品の準備、避難所の確認と避難先の選択)
※在宅避難の推進～避難所は大混雑
自宅と周囲が無事なら在宅避難生活を

【今、私たちができること】

〈揺れから命と体を守る〉

直下地震はすぐに最大の揺れが襲う

- ① 家具の下敷きにならない
- ② ガラスでけがをしない(室内はスニーカーを履いて移動、スリッパではダメ)

〈地震に強い住まいづくり〉

- ① 壊れない家
- ② 倒れない家具・落下しない家財

〈住んでいる地域を知る〉リスクと防災資源

- ① 揺れで被害が発生しそうな場所、火災が延焼拡大しそうな場所
- ② 災害時に活用できる場所・施設、資器材

◆ 令和6年度 新春爆笑健康講座
「新春落語初笑い」

厚生部会主催

三鷹駅前コミュニティ・センター地下1階大会議室

令和7年1月11日(土) 午後1時30分～

講師：入船亭 遊京さん(落語家) 参加者：56名 スタッフ6名

「笑う」ことは体や心の健康のために良いことは医学的にもよく知られています。今年も新しい年を迎えて気軽に落語で「初笑い」ということで講師に落語家の入船亭遊京さんを迎えて楽しい時間を過ごしました。遊京さんは今年の9月に真打に昇進が決定している新進気鋭の落語家さんです。観客は比較的高齢の方が多くでしたが、親子で見えている若い方もいました。



今回は2時間という長い講座の中で3題の落語と観客が全員で参加して作ったライトハイク(上の句と下の句を結び自由詩)で即興の小断を作って笑わせていました。落語は正月にふさわしい「初天神」や遊戯的な俳諧を題材にした「雑俳」と最後はじっくりと聞かせる「徂徠豆腐(そらい豆腐)」でした。新年早々参加された方々は大笑いしたことで今年1年、健康に過ごすことができるのではないのでしょうか。

◆ ソフトバレーボール大会

体育部会主催

令和7年1月19日(日)三鷹市立第三小学校体育館で、第30回ソフトバレーボール大会が午後1時より開催されました。参加者等総勢概算90人。体育部長の開会式挨拶、ルール説明、三鷹市の公式審判員紹介、全員で準備体操の後、Aコート、Bコートに12チームが6チームごとに分かれて総当たり戦です。チームは、三小、四小の各チーム。PTA関係、サッカー、野球の保護者チーム。名称も凝っていました。ソフトバレーは4人制男女混合、途中での選手交代はフリー。1セット15点先取、ジュースなし。サーブはオーバーハンド禁止。サイド、アンダーのサーブ。ボールは手以外の部分でも受けられる。足を伸ばして低いボールを見事にトスしたプレーがありました。ネットタッチはダメ。男子はジャンプ禁止。体育館天井にサーブしたミスもありました。ネットブロックは男子禁止、女子はOK。A、B各コートでそれぞれ15試合が行われ、大熱戦で歓声あり、懇親が深まりました。Aコートでの先生Aチームは校長先生がメンバーでハッスルし好成績。Bコートでの三小わいわいチームもホームグラウンドで見事なチームワーク、楽しく素晴らしい親善試合でした。



試合結果：各コートの1位は
Aコート：三小先生Aチーム。Bコート：三小わいわいチームでした。

地域に開かれた創造と交流の拠点を目指して 『森のアトリエ (仮称)』

◆ 事業概要

市では、令和5年4月に寄贈を受けた物件を活用し、『森のアトリエ (仮称)』として整備する事業を進めています。

『森のアトリエ (仮称)』は、芸術・文化を通したまちづくりを推進するため、将来活躍が期待される若手クリエイターのスタートアップを支援するシェアハウス事業を展開するとともに、人や地域がつながる交流の場となる施設を目指しています。

位置図



施設名：森のアトリエ (仮称)
所在地：三鷹市下連雀一丁目31番21号及び22号
開設時期：令和8年3月 (予定)

◆ 施設の3つの機能

若手クリエイターのスタートアップ支援の場及び地域の集会所として、「暮らす (= シェアハウス)」「つくる (= 創作スペース)」「つながる (= 地域交流の場)」の3つの機能を有する施設とします。

◆ プレイベントを開催しました

当該物件や市の取組を地域の皆様に知っていただくため、3月8日 (土) にプレイベント「下連雀アート & カフェ～まちと空き家がつながる日～」を開催しました。

当日は、改修前の施設見学や東京造形大学の長岡准教授と同大学修士1年の永瀬さんによるワークショップのほか、地域の一軒家レストラン「下連雀テラス」のご協力によるふるまいコーヒーなどが催され、地域の方を中心に150人が来場しました。

また、当日は、施設やプロジェクトに期待することの意見募集が行われ「“つながる”場所になるといい」「多世代交流ができる施設になってほしい」などのご意見が寄せられました。

施設の開設後においても、地域やシェアハウス居住者と連携し、地域の方が集い、楽しめる交流事業を実施する予定です。



◆ 今後のスケジュール (予定)

令和7年	6月～	改修工事
	12月	改修工事完了
令和8年	1月以降	プレイベント
	3月	開設

三鷹中央学園 プレ防災フェスティバル

1月26日 (日) 第三小学校・第四中学校を会場に、三鷹中央学園コミュニティ・スクール委員会主催「プレ防災フェスティバル」が開催されました。みたかSCサポートネット、三鷹市防災課をはじめ、三地区・七地区の青少対・交通対・おやじの会など地域の関係者も一同に集まりました。

第一部「三鷹中央学園9年間の防災教育を知ろう」では、おなじみ「じじよまる」とみたかSCサポートネットのみなさんが登場。「地震だ! みんなどうする?」子どもたちはとっさに頭と首を守るダンゴムシのポーズをとります。「津波だ! 逃げろ」「火事だ! 煙を吸わないように逃げるには?」それぞれのアクションを身につけることで自助を学ぶ「じじよまるアクション」を体験しました。

三小会場では、三鷹中央学園9年間の防災教育のパネル展示、避難所用パーテーションの展示、アルファ米の試食、防災倉庫の見学、マンホールトイレの見学。四中会場では、災害用給水ポンプ体験のブースが設けられ、小学生・中学生が説明してくれました。参加者はスタンプラリーシートを手にブースを回り、説明を聞いて、じじよまるスタンプを押してもらいました。全日本合唱コンクール全国大会で銀賞を受賞した三小合唱団の演奏もあり、270名を超える保護者や子どもたち、地域の方々の参加があり、とても盛り上がりました。

第二部 上映 & トークイベント「能登半島地震から1年 食と防災の現在地」は、四中体育館で開催されました。珠洲市の飯田高校で、避難所から通ってくる高校生のために炊き出し活動をされていた三上奈緒さんのドキュメンタリーの上映がありました。これは七小・四中の卒業生である小川紗良さんが手がけられた作品です。上映後は、小川さん、三上さん、そして鴨志田農園の鴨志田純さんの3名によるトークショー。鴨志田さんも東日本大震災でゲリラ的に炊き出しを行っていた経験をお話してくださいました。

今回は、「三鷹中央学園防災フェスティバル」のプレイベントです。来年度は三小・七小・四中の3会場でイベントを開催する予定です。早速4月から、実行委員会が組織されるとのことです。コミュニティの結束を深めつつ、みんなで防災を考える一日になりそうです。



子どもから高齢者まで楽しめる!! 運動会 四小地区むらさき運動会 参加者募集

日時 令和7年5月25日 (日) 午前8時30分開場 12時30分終了予定

場所 三鷹市立第四小学校 校庭

地域の有志が集まって開催している運動会です。

四小学区の丁目ごと (一丁目～四丁目) に分かれて、優勝を競います。

パン食い競争や丁目対抗リレー、〇×クイズなど子どもから

高齢者まで楽しめる競技になっています。

参加費・参加申し込み不要です。

ぜひ、当日、お誘いあわせの上、お気軽にお越しください。

お問い合わせは、こちらのQRコードからお願いします。



四小地区むらさき運動会実行委員会

七住協広報連絡会を開催しました。

2月13日 (木) 13時30分より三鷹駅前コミュニティ・センターにて、七住協広報連絡会を開催しました。

内容は、井の頭地区住民協議会 事務局長 新藤豊氏による

・コミセンDX (デジタルトランスフォーメーション) の現状、その目的

・Webサイトと広報紙の連携、広報部としての役割課題など

をお話しいただきました。

その後、各住民協議会の広報活動報告やホームページの運営について話し合いました。それぞれに悩みなどを抱えており、共有することで解決したりと大変有意義な時間となりました。

駅前地区自主防災連合会全体研修会

令和7年2月28日 (金)、21名の参加で、富士吉田市の富士山科学研究所で講義の研修を受け、その後、御殿場の東山旧岸邸の見学に行ってきました。

三鷹駅南口を午前7時30分バスで出発。中央高速で河口湖ICから富士山科学研究所に9時35分着、講義は「タイムラインを考える。災害と支援」、講師は造園学—ランドスケープ—環境保全の研究者、池口仁先生。阪神淡路大震災を体験した事を基に、都市計画学から話されました。内容は、被災者の経験する事、災害とは何か、災害に強いとは。実際に体験された生々しい事実から迫力ある講義でした。

「山梨県富士山科学研究所」は、富士山を重点的に研究する機関として整備され、世界文化遺産に登録された富士山の顕著な普遍的価値を保存管理し活用していくため、富士山火山防災対策に取り組むためには、富士山の自然環境をさらに深く研究する施設との事です。

この後、御殿場市に行き東山旧岸邸の見学に行きました。元総理の岸信介氏は退任後1970年、73歳の時御殿場市東山へ転居、晩年の17年間過ごされた邸宅、敷地面積5669m²、延床面積567.7m²。建築家吉田五十八氏。庭園は小川の流れる和風の庭。周囲は木々が生い茂る自然の中に伝統的な数寄屋建築。周囲は起伏や階段のない、途中腰掛のある散策路。優雅に楽しく見学してきました。

